

2022 年度第 2 回理事会議事録

日 時：2022 年 11 月 14 日（月）午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分

場 所：Zoom によるオンライン会議

出席者：長塚隆・会長、尾崎聖太郎・事務局長、岡慎一郎、下田尊久、福田直美、
松下裕、上田広子事務局員

欠席者：小形浩道

議 題：

1. 議事録署名人の選任

出席者の確認に続き、本議事録署名人として、岡理事及び松下理事を指名した。

2. 前回議事録の確認

前回（2022 年度第 1 回理事会）議事録の確認を行い、異議なく承認された。

3. 2022 年度上期の主な活動結果

事務局より、資料に基づき 2022 年度上期の主な活動結果について、報告があった。

4. 2022 年度上期会計報告

事務局より、資料に基づき 2022 年度上期会計報告（9 月末決算額）について、主に次のような説明があった。

- ・ 会費収入のうち、個人会員の会費納入率は、72%である。
- ・ 事業収入のうち、抄録索引受託費は、8 月作成分までの 5 か月間で 36%程度であったため、年間の事業収入額は見込んだ予算額より減額になると思われる。
- ・ 雑収入として、事業復活支援金の科目を追加し、予算計上した。
- ・ 予算額に対する経常収入の割合は、9 月末現在で 57%である。
- ・ 経常支出のうち、抄録索引作成費は、受託費が少ないことで支出も抑えられている。
- ・ 次期繰越収支差額は、事業復活支援金を予算計上したため、当初の予算額より増額になる見込みである。

また、会長より次のような補足説明があった。

- ・ 事業復活支援金の給付がなければ赤字になっていたことから、引き続き持続可能な運営体制を検討していきたい。

以上を踏まえ質疑応答した結果、異議なく了承された。

5. 2022 年度下期の活動計画

1) 会誌

下田理事（会誌編集委員会委員長）及び事務局より、208 号の編集は予定どお

り進んでいること、また、2022年度第3回編集委員会は、2022年12月8日（木）10時から、オンラインにて開催する旨の説明があった。

2) セミナー

事務局より、資料に基づき2022年度セミナーについて、開催することを前提とした説明の後、理事より次のような意見があった。

- ・ ハイブリッド型等オンラインでの開催は、システムについての専門家が必要ではないか。
- ・ 音声やディスプレイ等オペレーションに対するスキルの問題があり、現状の事務局の体制では本格的な数百人規模のウェビナーの実施は難しい。
- ・ 質問が出ないときの準備として想定問答を考えて置く必要がある。
- ・ オンラインセミナーにはZoomなどでのリアルオンラインと動画をYouTubeなどにアーカイブしておくオンデマンドの両方があり、どちらにするのかも検討する必要がある。
- ・ 予算内（5万円）で収まらないのではないか。
- ・ 対面で実施して、セミナー後に会員に動画を配信してはどうか。
- ・ テーマについては、会員にアンケートを取って決める方法が良い。

これらを踏まえ協議した結果、まずは事務局が依頼した関係方面の回答を待つこととし、対応が必要となれば改めてセミナー委員会を開催することとした。

3) 会員拡大

事務局より、会員の拡大について、未加盟の大学に入会案内・会誌を送付してはどうかとの提案があり、送料等、予算内での対応が可能であることを確認し、経費に問題がないとのことから、実施することについて承認された。

4) 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）への申請

会長より、別紙資料に基づき国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）について、本協議会のホームページを長期に保存してもらい、できるだけ多くの人に見てもらいたいとの思いから、本事業への申請を提案したいとの説明があった。

これについて理事より、申請時に何か条件があるのかとの質問があり、学協会については今後順次収集される予定であるが、申請があったところから優先して受け入れるとのことから、申請することで承認された。

6. その他

岡理事より、2023年3月をもって所属機関を退職する旨の連絡があり、併せて本協議会理事も2022年度末をもって辞職したいとの申出があった。

議 長 長塚 隆

印略

議事録署名人 岡 慎一郎

印略

議事録署名人 松下 裕

印略